

公表

事業所における自己評価総括表 児童発達支援

○事業所名	もりっこ		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 4日 ～ 令和7年 3月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 17日 ～ 令和7年 3月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族とのお子さんの情報共有、相談援助をしっかりと行うことで、状況変化等知り支援に生かしていけること。 また、保護者のお子さんへの関わり方への助言から家族支援を充実させていけること。	連絡帳や、振り返りの際の内容を職員間で共有し、支援に役立てたり、関り方をお伝えしてご家庭でも取り組んでいただけるようにしています。	研修会等の参加により、家族支援を充実させるようにします。
2	活動プログラムを季節やお子さんの状況に合わせて設定したり、参加の仕方をスモールステップで知らせ安心して行えるように支援していくこと。	集団での様子を観察しながら、個別活動で練習したり、また個別で自信がついたところから集団に参加する等、無理なく安心して活動を楽しめるようにしています。	より実態が把握できるアセスメントの種類の検討を行っています。
3	園・所等のまた関係機関との連携により情報共有を行いスムーズな移行支援を行うこと。	ご家族、園・所、保健師を含めたステップ会議の実施や、それ以外の情報共有の会の参加。	現在も行っている、園・所の先生方に事業所の取り組み等、療育場面の見学を進め共有していきたいと思えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子さんのニーズの引き出しをしていくこと。	支援者の視点から考えがちになっている。	ニーズを引き出すための提示の方法等お子さんに合ったものを探していきます。
2	情報発信の仕方・方法。周知が十分でない面がある	計画が不十分のため実行できていない。	計画的に実施していきます。また、SNS等の使用の検討も行っています。
3	ご家族の方がお互いに話ができる機会がない。	ご家族が集まる機会が設定されていない。	参観日のようなご家族が来所される機会を持つことで、ご家族同士の話ができるような場の設定をしていきます。